案件化調査
ベトナム国　新生児黄疸診断機器導入を通じた新生児医療向上

企業・サイト概要

- 提　案　企　業 :株式会社アペレ
- 提案企業所在地:埼玉県川口市
- サイト・C/P機関 :ベトナム国ホアビン省／保健省・ホアビン省政府保健局

ベトナム国の開発課題

- 新生児死亡率は大きく低下したが、母子保健、新生児医療には引き続き課題あり:その一つは新生児黄疸
- 地方、農村部では確定診断用検査機器の未普及が一因で適時の診断・治療が困難→重症化
- 大規模病院への負荷集中:都市と地方、都市部と農村部の医療水準格差

中小企業の技術・製品

- 血中総ビリルビン値測定機器:途上国向けに開発
- 高精度ながら単機能(新生児黄疸検査のための測定機能に特化)、簡易な操作、低廉な価格水準
- ベトナム国内でメンテナンス対応可能
- ほぼ100%が海外向け、世界65か国で高い評価

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 民間提案型普及・実証事業:より多くの公的医療機関に普及を図るとともに新生児医療従事者の能力強化
- 技術協力プロジェクト:黄疸を含めた新生児管理技術の移転→新生児医療、地方(農村部)医療の水準向上、医療関係者の能力向上
- 無償資金協力(中小企業ノンプロ無償):地方(北部地域等)、農村部の中規模病院に対する機材供与

日本の中小企業のビジネス展開

- 保健省、公的医療機関における対象製品の認知度向上→公的医療機関への導入促進
- 従来からベトナム自社工場立ち上げに向け準備中→ベトナム国内生産、ベトナムから各国に輸出